

傳染病豫防上蠅ノ驅除ニ關シテハ常ニ市町村長及警察署長等ヲ督勵シ之カ施行ニ努メタル結果相當ノ成績ヲ收メツ、アルモ昭和三年ハ特ニ未タ蠅ノ簇生セサルニ先立テ六月二十四日ヨリ同三十日ニ至ル一週間縣下一齊ニ蠅取週間ヲ實施シ其ノ成績ハ各警察署毎ニ取纏メ、一等五圓、二等三圓、三等二圓ノ賞金ヲ交付セリ而シテ縣下第一位ノ成績ヲ收メタルモノニ對シテハ更ニ賞金十圓ヲ交付セルカ其ノ交付賞金ハ十九警察署分ニシテ合計金二百圓支出セリ而シテ縣下第一位ノ成績ヲ收メタルモノハ大間々警察署管内ニ在リテ四キログラム餘ヲ捕獲セリ尙縣下ニ於ケル捕獲總人員一九、八六四人ニシテ捕獲總量四二六、五八一ナリ

ロ、傳染病々原體保有者檢索

大正十一年以降逐年減少シツ、アリシ消化器傳染病ハ昭和二年中遽ニ其ノ數ヲ増加シタルニ鑑ミ各種防疫施設ヲ講シ之カ制遏ニ努メタル結果昭和三年ハ腸チフス及バラチフスニ於テハ前年ニ比シ著シク其ノ數ヲ減シタルモ未タ樂觀ヲ許サ、ルモノアルヲ以テ昭和二年及三年中ニ於ケル消化器傳染病患者並同病原體保有者ノ消失シタルモノ一、三〇八人ニ對シ八月一日ヨリ同二十四日ニ至ル間ニ於テ二回ニ亘リ檢査材料ヲ採取シ傳染病流行ノ因ヲナス病原體保有者ノ檢索ヲ施行シ二名(腸チフス、バラチフス各一名)ノ保菌者ヲ發見シタリ之等ニ對シテハ夫々法令ニ基キ處置シタリ

ハ、檢病一齊調査

傳染病患者早期發見ノ爲メ施行スル檢病の戸口調査ニ關シテハ各警察署長ヲ督勵シ必要ニ應ジ隨時管内一齊ニ施行セシムル等不斷ノ努力ヲ爲シツ、アルモ特ニ昭和三年ハ傳染病ノ撲滅ヲ期スル目的ヲ以テ第一回ヲ八月十日ヨリ同十六日迄一週間第二回ヲ十月十三日ヨリ同十九日迄一週間ノ二回ニ亘リ縣下一齊ニ檢病の戸口調査(第一回二〇一、九一四戸、一〇〇九四、八三二名)ヲ施行シ發見セル傳染病患者二十名(内腸チフス患者十九名、赤痢患者一名)及同疑患者三十八名ニ對シテハ夫々法令ニ基キ處置シタリ

ニ、井戸消毒ノ施行

クロール石灰ヲ使用スル井戸消毒ニ關シテハ機會アル毎ニ之カ獎勵ニ努メタル結果近來自發的ニ町村ノ全般ニ亘リ施行ス

ルカ如キモノ逐年増加スルヲ見ツ、アルモ昭和三年ハ特ニ之カ普及ノ徹底ヲ計リ且ツ豫防ノ實績ヲ擧グル爲第一次計畫トシテ昭和二年及三年ニ於テ患者十名以上發生シタル縣下三市五十一ヶ町村及第二次計畫トシテ患者七名以上發生シタル十三ヶ町村ノ忠家及其ノ附近ノ井戸ニ對シ衛生技手及防疫監吏ヲ派遣シクロール消毒ヲ施行シタリ其ノ成績左表ノ如シ

井戸消毒施行成績

- 一、施行市町村 三市六十四ヶ町村
- 二、消毒井戸數 八三二個
- 三、使川藥品總量 二二貫一五匁
- 四、井戸水總量 九、三九四石三斗
- 五、井戸一ヶノ平均水量 一二石六斗八升
- 六、井戸一ヶノ平均藥量 二九匁九分七厘
- 七、施行從事人員 六十八人

第一次井戸消毒施行成績表

施行月日 自八月二十九日 至九月十七日

井戸消毒施行市町村數	消毒井戸個數	同上井戸總水量	使用藥品總量	井戸一ヶノ平均水量	井戸一ヶニ付使用セル平均藥量
市三 五一	七四九	八、三九一、二二七石	一九、七〇六、九九匁	一三、二九石	三〇、九五匁

第二次井戸消毒施行成績表

施行月日 自十月八日 至同月十五日

井戸消毒施行市町村數	消毒井戸個數	同上井戸總水量	使用藥品總量	井戸一ヶノ平均水量	井戸一ヶニ付使用セル平均藥量
一三	八三	一、〇〇三、〇〇一石	二、四〇八、三五匁	一二、〇〇八石	二八、九九匁

ホ、清潔法施行ノ監督

例年施行スル春秋二回ノ清潔法ニ付テハ各市町村長及警察署長ヲ督勵シ其ノ施行ノ監督ヲ周密ナラシメ苟モ清潔法ニ施行スヘキ事項ハ勿論一般衛生ニ關スル事項ト雖モ此ノ機會ヲ利用シ改善シ得ヘキモノニ付テハ銳意改善ノ方法ヲ講セシメタリ特ニ昭和三年ノ秋季清潔法ハ勤メテ十一月以前ニ終了セシメ且其ノ施行ニ付テハ從來ノ方針ニ基キタル外傳染病患者ノ發生シタル地方ニ對シテハ消毒的清潔法ヲ施行セシメ防疫監吏、警察官吏等ヲ派遣シ施行ノ監督指導ヲ爲サシメタリ其ノ狀況左表ノ如シ

秋期清潔法施行成績表 昭和三年

總 戸 數	完全ト認メタル戸數	不完全ノ爲メ再執行又ハ改造修繕ヲ命シタル戸數	特別ノ事由アリテ指定期日ニ施行シ能ハサリシ戸數
二二〇、四七四	一九〇、一六一	七、三〇四	一三、〇〇九

春季清潔法施行成績 昭和三年

總 戸 數	完全ト認メタル戸數	不完全ノ爲メ再執行又ハ改造修繕ヲ命シタル戸數	特別ノ事由アリテ指定期日ニ施行シ能ハサリシ戸數
二〇八、六五九	一八三、八五一	八、三四八	一六、四六〇

ハ、傳染病豫防法ニ依ル市町村醫ノ設置

各市町村ニ於ケル傳染病ノ豫防救治ニ從事スヘキ市町村醫ハ命令(大正十二年八月十七日、群馬縣令第三十九號)ノ定ムル所ニ依リ之ヲ設置セシメ豫防救治ニ付キ遺憾ナカラシムル様常ニ監督指導ニ努メツ、アルモ土地ノ狀況其ノ他ニ依リ往々ニシテ之ヲ缺クモノアルヲ以テ六月中縣下一齊ニ之カ調査ヲ施行シタルニ二〇六町村中未設置ノモノ一一町村アリ之等ニ對シテハ即時之ヲ設置セシメ傳染病豫防救治ノ完璧ヲ期セシメタリ

ト、結核及「トラホーム」檢診勵行

本件ニ關シテハ法令ニ依リ毎年勵行シ居ルト雖モ<sup>大正十五年</sup>昭和元年中管下四警察署管内昭和二年中六警察署管内ノ接客業者ニ對スル

檢診ヲ施行シ九警察署管内ハ未檢診ナリシカ昭和三年御大禮ニ際シ衛生施設ノ一端トシテ特ニ之カ檢診ヲ勵行セル結果九月末日迄ニ前記九警察署管内ノ檢診了シタリ而シテ健康診斷施行人員一萬六千四百十一名ニシテ檢診ノ結果結核ト決定セル五名ノ患者ハ營業禁止前死亡又ハ廢業セリト雖モ廢業セル患者ニ對シテモ銳意豫防治療ニ努メシメタリ又トラホームニ關シテハ健康診斷施行人員一萬六千百十一名ニシテ内重症三百四十五名輕症九百十名、疑似症千八十名ヲ發見シ之ニ對シテモ特ニ治療及注意事項ノ遵守ヲ勵行シタリ之カ治療成績ハ取纏メ中ナルモ相當ノ成績ヲ擧ケ得タルヘシト信ス

六、狂犬病豫防ニ關スル件

- イ、犬籍簿ヲ整理スルコト
  - ロ、浮浪犬ノ捕獲ヲ勵行スルコト
  - ハ、犬ノ買上ヲ勵行スルコト
  - ニ、狂犬病豫防接種ノ普及ヲ圖ルコト
- 狂犬病豫防注射及犬ノ整理成績ハ左表ノ如シ

狂犬病豫防注射成績表 (昭和三年自四月至十一月)

注 射 人 員	注 射 度 數	注 射 完 了 後 發 生 ノ 有 無
九	一六二	一

狂犬病豫防注射及犬ノ整理成績表 (昭和三年自四月至十一月)

買 上 頭 數	捕獲頭數 (殺ヲ含ム)	畜犬新規届出頭數	計	豫防注射頭數	畜犬現在頭數	野犬見込頭數
一、二一〇	四三六	九八三	二、六二九	七、五三九	一四、四二四	三三〇

其他御大禮ニ關スル衛生上ノ注意事項ハ内務省發衛第二十八號通牒ノ趣旨ニ則リ警察署長ニ指示シ之カ實行ニ努メタリ  
豫算 三千百十三圓

(16) 千葉縣

地方警備ノ際警備場並ニ休憩場ニ收護所ヲ設置之カ救急藥品費トシテ御大禮費雜費中ヨリ金七圓二十錢支出セリ  
内務省通牒御大禮衛生施設事項ハ及フ限リ實施セリ

(17) 茨城縣

茨城縣防疫並保健衛生施設ニ對シ萬全ヲ期スルタメ昭和三年六月各警察署長ヲシテ所轄内町村長、町村醫、駐在巡查ヲ會同セ  
シメ施設事項ニ就キ打合會ヲ開催セシムルト共ニ一般縣民ニ對シテモ之カ趣旨ノ徹底ヲカメ更ニ七月二十日ヨリ二十六日迄左  
記事項ニ依リ「チフス」豫防並ニ狂犬病豫防週間ヲ施行セルカソノ結果衛生講話會四百七十一回聽講人員五十二萬六千二百餘  
人、九千四百六萬三千三百餘疋ノ捕蠅ト二千六十九頭ノ野犬掃蕩ヲ行ヒタリ

「チフス」豫防週間實施事項

- 一、宣傳ポスター及宣傳ビラ送付ニ付概要ナル場所ニ適當貼付シ宣傳ビラハ小學校兒童及衛生組合員ヲ通シ各家庭ニ配布スル  
コト(彙ニ御送付致置キタルモノ)
- 一、熱性及下痢患者ノ檢案及視察ヲ嚴重勵行シ早期發見ニ努ムルコト
- イ、氷雪販賣者ニ就キ熱性患者冷却用トシテノ販賣狀況調査ノコト
- ロ、藥賣店ニ於ケル解熱下痢止等ノ賣行狀況ノ調査ヲ行フコト

ハ、鍼按業者及禁服祈禱者ニ就キ出入者ノ病症模様調査ヲ行フコト

- 一、各種取締營業者ハ勿論一般住民ヲ適當ナル場所ニ集合セシメ衛生講話開催ノコト
- 一、小學校兒童ニ對シテハ學校醫又ハ受持教師ヨリ平易ナル衛生講話ヲ行フコト
- 一、衛生活動寫眞、衛生浪花節、衛生劇、衛生展覽會等ヲ開催ノコト
- 一、「チフス」保菌者ニ對シテハ傳染病豫防法施行規則第十一條遵守事項ヲ調査シ不備ノ點ハ勵行セシムルコト
- 一、豫防週間ニハ特ニ石油乳劑ノ撒布、蠅ノ驅除勵行ノコト

狂犬病豫防週間施設事項

- 一、別送豫防ポスター及パンフレットヲ適當ナル個所ニ配布シ趣旨徹底ニ努ムルコト
- 一、「チフス」豫防ノ講話會ト同時ニ別紙「パンフレット」ニ依リ狂犬病ニ關スル講話ヲナスコト
- 一、別紙配當ノ豫算ノ範圍内ニ於テ左記ニ據リ畜犬整理野犬掃蕩等ヲ施行スルコト

記

- (イ) 野犬買上 牝 一頭 五十錢
- 牡 一頭 三十錢
- 小 一頭 十錢

(ロ) 野犬撲殺勵行ノコト

チフス豫防及狂犬病豫防週間施行狀況調 (昭和三年度)

講話會 開催 度數	同上聽講人員 數	宣傳ポスター 及ビラ作製枚 數	同上經費價格	週間中ノ石油 乳劑散布量	週間中ノ蠅取數	野犬掃蕩								
						撲殺	藥殺	捕殺	捕殺					
四七一	二一九、二六七	五二六、二七六	六七四、六七〇	四六三九、二八〇	九四〇六三、三一二	二四七	二七七	一四九	四五一	四六二	二〇一	一一一	一〇九	六二

御大禮記念衛生施設事項

御大禮記念事業トシテ衛生施設上獎勵ヲ爲シタル事項左ノ如シ

- イ、傳染病隔離病舎設置ニ關スル件
- ロ、上水、下水道改良普及ニ關スル件
- ハ、飲料水ノ改良ニ關スル件
- ニ、改良便所設置ニ關スル件
- ホ、婦人衛生組合組織ニ關スル件
- ヘ、墓地整理並火葬場設置ニ關スル件

地方饗饋衛生事務事項

- イ、地方饗饋用ノ各種飲食物共ノ他ノ器具製造者並其ノ從業者等ニ對シテハ本人ハ勿論其ノ家族ニ至ル迄身體檢查並尿尿略痰ノ細菌檢查ヲ施行シ飲食物並其ノ器具ニ對シテハ衛生上ノ檢查ヲ施行シ専ラ清潔ヲ保持セシムルト共ニ各種傳染病ノ豫防取締ヲ嚴密ニ施行シタリ
  - ロ、地方饗饋ノ爲メ納入ノ各種飲食物並器具容器等ニ對シテハ細密ナル檢查並消毒ヲ施行シ尙地方饗饋ノ前日ヨリ二十六日ノ朝ニ涉リ晝夜兼行ヲ以テ之カ納入檢查ヲ施行シ饗饋調進者ニ對シテハ専ラ清潔ヲ保持スル様注意書ヲ配布シ以テ衛生上遺憾ナキヲ期シタリ
  - ハ、地方饗饋當日ニ於テハ救護係二班ヲ組織シ第一班ハ地方饗饋場ニ他ノ一班ハ水戸停車場ニ於テ救護事務ニ從事シタリ
- 經費 二千八百六十圓

(18) 栃 木 縣

御大禮衛生施設ニ關シテハ昭和三年七月十一日十二日開催ノ縣下市町村長會議並九月二十四日二十五日開催ノ警察署長會議等ニ於テ特ニ同年三月二十八日付内務省發衛第二八號内務次官依命通牒ニ基キ夫々指示注意ヲナシ之レカ實施ニカメタル外尙左ノ通施設ヲナシタリ

一、檢病的戸口調査ノ執行

傳染病就中腸チフスバラチフス患者早期發見ノ目的ヲ以テ昭和三年五月ヨリ十一月ニ至ル七ケ月間左記ノ通り檢病的戸口調査ヲナシタリ

イ、執行期間及回数

自五月一日七ケ月間毎月二回以上一週スルコト  
至十一月三十日

ロ、方法

警察官及衛生組合員ヲ督勵シ各戸ニ就キ檢病的戸口調査ヲナシ容疑患者發見ノ際ハ醫師ノ診察ヲ慫慂シ或ハ縣技術員ヲ派シ檢診ヲ爲サシメ臨床上診斷困難ノ場合ハ細菌學的檢查ニ依リ夫々措置ヲナシタリ

ハ、執行回数及一回平均施行戸數人口

- 一四回 一回平均 一〇八、四一一戸 五五四、四〇二人
- ニ、發見患者總數 一五四人  
内腸チフス 一〇五人、バラチフス 三五人  
赤痢(疫病ヲ含ム) 一人  
チフテリア及猩紅熱 各一人

二、防疫會議ノ開催

十月十六日縣下各市町村醫ヲ招集シ防疫會議ヲ開催前同様内務次官依命通牒ニ準據シ各關係事項ニ付夫々指示注意ヲナシ極力依命通牒ノ實行ニ努メタリ

(19) 靜 岡 縣

静岡縣昭和三年頭初ヨリ計劃シ警察署及市町村ヲ督勵シ傳染病豫防其ノ他一般衛生施設ノ改善取締ニ努メツ、アリタル所ナルモ特ニ九月上旬ヨリ十一月下旬ニ亘リ實施セル施設成績次ノ如シ

一、檢病調査

九月十日ヨリ十一月二十三日ノ間三回ニ亘リ各警察署ヲシテ施行セシメ患者ノ早期發見ニ努メタルニ其ノ施行總人員(延人員)百八十六萬七千二百三十八人發見患者普通病九千七百七人傳染病疑患者四十七人内診斷若クハ檢鏡ノ結果腸チフス二十一人赤痢、疫痢、赤痢疑似十四人計二十五人ノ傳染病患者ヲ發見セリ

二、チフス豫防注射

豫防注射ハ三、四月ノ候ヨリ特ニ之カ普及ニ努メツ、アリタルモ九月上旬ヨリ十一月末ニ亘リ更ニ接客業者、警察官、鐵道沿線市町村内注射施行漏ノモノニ對シ實施シタルニ其ノ成績二萬一千百九十三人施行セリ内警察官九百十二人アリ

三、保菌者檢索

主トシテ鐵道沿線各市町村接客業者及飲食物製造販賣業者ニ對シ實施シタルニ其ノ施行人員一萬七千九百六十七人ニシテ内病原體ヲ發見シタルモノ九名(腸チフス七、バラチフス二)ニシテ内男五名(洋酒販賣、農、料理各業一、菓子製造業二)女四名(漁業、果物行商業各一、酒類小賣業二)ナリ

四、病原體保有者ノ取締

關係各警察署及市町村ニ對シ特ニ通牒シ嚴重取締ラシムルト共十一月中本廳ヨリ係員ヲ派遣シ警察署市町村ノ取締、狀況竝ニ保有者二十七名ヲ視察セシメ消毒其ノ他規定ノ履行ヲ實施セシメタリ

五、不食飲食物、清涼飲料水ノ取締

十月下旬各警察署ヲシテ鐵道沿線四市六十二ヶ町村ニ於ケル一齊檢査ヲ實施セシメタルニ其ノ成績左表ノ如ク尙鐵道沿線中特ニ必要ト認ムル市町村ニ對シテハ縣ヨリ技術員ヲ派遣シ特ニ之レカ檢査ヲ施行セシメタリ  
飲食物其ノ他ノ物品試驗成績

檢査戸數	清 潔		保 持		飲 食 物 用 器 具		飲 食 物	
	適	不	適	不	適	不	適	不
六八二	三三五	一八八	五七六	四八三	一、五五二	六七一		

六、精神病監置者ノ取締

各警察署ニ指示シ特ニ取締ヲ嚴ナラシムルト共ニ鐵道沿線三里以内ニ對シテハ七月下旬ヨリ十一月下旬ニ亘リ私宅監置ノ實地ニ就キ特ニ係員ヲ派遣視察セシメタルニ其ノ狀況左記ノ如クニシテ監置室ノ構造不備及監護義務者ノ不適又ハ義務履行不充ナルモノニ對シテハ夫々改造變更ヲ命シタリ

- (1) 管下私宅監置精神病者總數 一三八
- (2) 同上中鐵道沿線三里以内ニ在ル患者數 九五
- (3) 同上取締執行數 九五
- (4) 視察ノ結果改造ヲ命シタル數 三〇
- (5) 監護義務履行不能ニ付變更ヲ命シタル數 二

七、救護所ノ設置

御通過當日縣下鐵道沿線主要驛十一ヶ所ニ救護所ヲ設置シ救護ニ當ラシメタルニ其ノ狀況左記ノ如シ

(1) 救護従事者

- 醫師會、醫師四一、看護婦二一、計六二
- 赤十字社静岡支部、醫師六、看護婦九、書記八、計二三
- 縣職員、衛生技師技手防疫醫一二、藥劑師タル技師技手五、屬三、防疫監吏八、衛生主事補四、巡查一、衛生助手一、計三
- 四共ノ他、在郷軍人五、消防組員一九、市町村書記八、計三二

合計

一五一

備考 右人員ハ延人員トス

(2) 救護人員 右拇指挫傷一、腦貧血八、計九

八、豫算 壹千貳百圓

(20) 山梨縣

一、施設

イ、特ニ縣令ヲ發布シ十月中各市町村ヲシテ期日ヲ定メシメ縣下無漏清潔方法ヲ施行セシム

ロ、痘瘡豫防上縣下市町村長及警察署長ニ對シ未種痘者ノ調査ヲ特ニ嚴行シ脱漏者無カラシメ尙曩ニ痘瘡患者ノ發生アリタル地及隣接地タル一町七村ニ對シテハ當時直チニ縣令ヲ發布シ強制種痘ヲ行ヒ豫防撲滅ヲ行ヘリ

ハ、全縣下ニ亘リ特ニ戸口調査ヲ行ヒ及傳染病患者、同保菌者ノ取締ヲ嚴行シテ傳染病豫防撲滅ニ努ム

ニ、傳染病保菌者ノ大禮關係地方ノ移轉旅行ニ對シテハ之ヲ阻止ス

ホ、浮浪徘徊癩患者ニ對シテハ救護其ノ他適當ノ措置ヲ爲ス様計劃ス私宅療養癩患者ノ大禮關係地方ヘノ旅行ヲ阻止ス

管下癩患者收容所ニ對シ患者ノ逃走防止ニ關シ特ニ計劃實行ス

ヘ、狂犬病豫防、野犬掃蕩ニ關シテハ十月一日ヨリ同七日ニ至ル間狂犬病豫防週間トシテ縣下一齊ニ之カ取締ヲ爲シ野犬、浮浪犬ノ買上ケ及撲殺(狂犬病ナシ)ヲ爲ス

二、豫算

一般豫算ニ於テ支辨セルモノヲ除キ特ニ豫算トシテ計上セル額ハ一千三百四十七圓ナリ

(21) 岐阜縣

一、通牒 御大禮衛生施設事項ニ關スル件ニツキ昭和三年三月二十八日附內務省發衛第二八號ニ準據シ縣下各警察署長及市町村長ニ對シ之カ實施方通牒

二、傳染病講習會 昭和三年六月ヨリ十月マデノ間ニ於テ縣下各警察署(飛驒三郡ヲ除ク)ニテ二日乃至三日間其ノ管轄內警察官吏、市町村吏員、衛生組合幹部ニ對シ、傳染病大意傳染病豫防法並關係法規消毒方法ニツキ短期講習會開催

三、精神病患者ノ取締 監置非監置ノ精神病患者取締ニ就テハ當時警察署長ヲ督勵中ナルモ監置精神病患者ノ取締ニ就テハ尙一層注意ヲ要スヘキモノアルヲ認メ九月末ヨリ十一月初旬ニ於テ警察部衛生課員ヲシテ各精神病患者監置室ヲ一回又ハ二回實地視察セシメタリ

四、豫算 特ニ計上セス

(22) 長野縣

該當事項ナシ

(23) 宮城縣

御大禮衛生施設事項ニ關シテハ昭和三年三月二十八日附內務省發衛第二八號ニ準據シ管内全般ニ亘リ一齊ニ同年四月ヨリ十一月マテ實施シタル外該當事項ナシ

(24) 福島縣

該當事項ナシ

(25) 岩手縣

一、當縣下ニ於テ昭和三年十月陸軍特別大演習舉行セラレタル關係上衛生施設ニ關シテハ別紙添付(省略)ノ陸軍特別衛生事務處理手續、皇族、供奉員、貴賓及統監部員ノ宿舍主衛生上ノ心得、軍隊宿舍主衛生上ノ心得、宿屋飲食店、料理屋及飲食物營業者ノ衛生上ノ心得等ヲ制定シ尙魚類販賣業取締規則、畜犬取締規則、同取締規則取扱手續、腸チフス豫防撲滅ニ關シ縣令訓令告諭ヲ發シ尙麻疹流行性感胃豫防ノ心得等ヲ作成シ縣下ニ頒布シ或ハ各種傳染病豫防撲滅ノ爲活動寫眞會ヲ開催シ豫防思想ヲ宣傳勵行シタリ

一、御大禮衛生施設ニ關シテハ特ニ劃策シタルモノナキモ前記施設ヲ持續督勵セリ

一、縣下西磐井郡山目村鈴木仲治ハ御大禮御料品納入者京都市下京區七條通り本町西入木村三郎ハ御料食品材料トシテ雉子ヲ供給シタルヲ以テ陸軍特別大演習衛生事務處理手續中左記御料品ニ關スル事項ニ準據シ處理違算ナキヲ期セリ

記

一、御料品ノ製造又ハ取扱ニ付テハ、左ニ掲クル事項ヲ遵守スベシ

イ、作業ニ從事スル者竝ニ其ノ家族及同居者ニ對シ豫メ健康診斷及檢便ヲ行ヒ、且傳染病患者(疑似症ヲ含ム)アル場所ニ交通セシメサルコト

ロ、作業ニ從事スルトキハ豫メ指爪ヲ短剪シ、石鹼ヲ以テ肘部以下ヲヨク淨洗シ、稀酒精ヲ以テ消毒シタル後、白衣及白帽ヲ着用シ且口覆ヲ用キ、木履ヲ穿チ更ニ稀酒精ヲ以テ手ノ指ヲ消毒シ着手スルコト

ハ、御料品ノ製造又ハ取扱場所及御料品ニ關係アル場所ニハ係員以外ノ者、又ハ之ニ關係ナキ獸類等ヲ入ラシムヘカラス

一、御料品ヲ上納スルトキハ衛生技術員之ニ從フヘシ

一、御大禮衛生施設ニ關シテハ特ニ豫算ヲ計上セス

(26) 青森縣

本縣ニテハ特ニ腸チフスノ豫防ニ主力ヲ濺キ縣下全圖ヲ腸チフス豫防接種區域トシ接種人員ハ六萬九千五百二十九人ニ及ヒ之カ豫算トシテワクチン製造費、技術官旅費トシテ五千圓ヲ要セリ

(27) 山形縣

一、傳染病豫防

本件ニ關シテハ各警察署ニ於テ計畫ヲ定メ實行セシメタルカ傳染病中多ク本縣ニ發生スルハ腸チフス、バラチフス、赤痢等ニシテ大要左ノ如ク主トシテ是等ノ豫防ニ付勵行セリ

一、豫防智識ノ普及

市町村又ハ衛生組合ト協議シ印刷物ヲ新聞紙ニ折込又ハ警察官吏ヲシテ各戸ニ配布セシメ一面活動寫眞應用衛生講話ヲ開催シ之カ普及ヲ計レリ

二、豫防接種ノ勵行

特ニ前年及本年患者發生部落ニ於ケル豫防接種ヲ勵行シタルト共ニ宿屋料理屋飲食店其ノ他飲食物販賣業者並是等ノ從業者ニ對シ豫防接種ノ勵行ニ努ム

三、患者ノ早期發見

警察署、市町村、衛生組合ハ互ニ連絡協調シ檢病的調査ヲ實行シ必要ニ應シ醫師ノ立會診斷ヲ行ハシム

四、保菌者ノ検索

前年及本年患者發生部落又ハ工場等ニ對シ期日ヲ指定シ健康診断ヲ施行シ特ニ飲食物販賣業者等ノ如キ傳染ノ媒介ヲ爲ス虞アルモノニ對スル糞便検査ヲ施行ス

五、蠅驅除ノ勵行

市町村並衛生組合ニ對シ蠅驅除改良便所設置ノ獎勵厩舎、堆肥ノ改善及市街地ニ於ケル汚物焼却場ノ設置ヲ督勵ス

六、衛生組合ノ活動督勵

衛生組合役員、市町村衛生主任等ノ連絡ヲ保チ必要上可成協議會又ハ講習會ヲ開催セシメタルト共ニ衛生組合役員ノ活動ヲ促進スル爲メ檢病調査又ハ傳染病發生時ニ於ケル消毒等ニ立會ハシメ一面疑ハシキ患者發見ノ場合ハ通報ノ方法ヲトレ

二、保健衛生ノ改善

一、飲料水ノ改善

縣下ニ於ケル飲料水ハ一般ニ良好ナラス加フルニ之カ普及完カラサル爲メ流水ヲ使用シ又ハ飲料ニ供スルモノ勘カラサル狀況ニシテ保健防疫衛生上寒心ニ堪ヘサルモノアルヲ以テ從來之カ改善ヲ獎勵シ來タル處ナルカ今般之カ改善ヲ本縣御大禮記念事業中ニ選定シ一面之カ改善費ノ一部ヲ補助スルコト、シ普及改善ヲ督勵セリ尙御大禮ニ際シ町村ノ申請ニ對シ一般個人ノ井水ヲ蒐集シ無料検査ヲ施行セリ

二、清潔保持

秋期清潔法ハ特ニ嚴重之ヲ行ハシメ街路又ハ之ニ沿ヘル河川溝渠及下水溝等ノ清潔保持ヲ勵行シ塵芥處分ノ適切共同便所ノ清潔保持等ニ努メタリ

三、飲食物等ノ取締

(一) 獸肉、牛乳等ノ検査ヲ嚴ニシ販賣場所ノ清潔保持ヲ勵行セリ

(二) 飲食物製造所販賣場所等ニ對シテハ昨年六月飲食物取締規則ヲ制定シ取締ヲ勵行ス

(三) 宿屋、料理屋、飲食店、貸座敷等ニ於ケル調理場ノ改善、清潔保持、飲食物原料ノ精選、洗面所、浴場、便所ノ清潔保持其ノ他取締規則ノ勵行ニ努メタリ

(四) 以上ノ外衛生ニ關スル諸營業ニ對シテハ夫々取締規則ヲ勵行セリ

三、地方賜饌ニ關スル衛生施設

地方賜饌ニ際シテハ左ノ事項ヲ實施シ衛生上遺漏ナキヲ期シタリ

1. 賄品ノ精選

賄品並之カ原料品ノ検査ヲ行ヒ遺憾ナキヲ期シタリ

2. 健康診断

賄品ニ關係スル者全部ノ健康診断ヲ行ヒ異狀者ハ之ニ從事セシメサルコト、セリ

3. 調理場、調理器具ノ検査

調理場ハ全部清潔方法ヲ行ハシメ不良器物ハ使用セシメサルコト、セリ

4. 饗饌場ノ消毒

賜饌ノ直前饗饌場ノ消毒ヲ行ヒタリ

5. 救護所ノ設置

地方賜饌當日、同場ニ救護所ヲ設置シ老者急病者ノ救護ヲ行ヒタリ

四、豫算、特ニ計上セス



第一 飲料水ニ關スル件

本縣ノ飲料水ハ秋田市水道ノ外給水設備ノアル町村(簡易水道)二十九ヶ所アルモ其ノ他ハ主トシテ井水流水ヲ飲用ニ供シア  
ルヲ以テ之レカ改善ニ就キ年々井水ノ飲料適否ヲ検査シ來レルカ本年ハ縣内樞要ナル地域八ヶ所ノ井水四百六十九個ニ付キ檢  
査ヲ行ヒ一面縣下全部ニ亘リ八月二十五日ヨリ同月三十一日迄ノ衛生週間ノ際「クロール」消毒ヲ爲サシメタルニ其ノ成績左  
ノ如シ

クロール消毒井戸數

一萬二千二百二十三個

消毒未済ノモノ

一千六百二十個

未消毒井戸ハ週間中縣内各地早魃ノ爲井水枯喝ニ依リ消毒不可能ノモノナリ尙掘抜井戸ニ對シテハ其ノ使用時ニ「クロール」  
消毒ヲ施行セシメタリ

第二 清潔保持ニ關スル件

春秋二回ノ定期清潔検査ヲ嚴重ニ行ハシメ一面清潔保持ニ努メシムルト同時ニ縣内各驛所在地ハ日常ノ清潔保持ニ就キ注意セ  
シメタリ殊ニ秋季清潔方法ニ就キ各市町村ハ衛生組合長ヲ招集シ特ニ御大禮ニ際シ清潔保持ニ就キ協議ヲ爲シ遺憾ナカラシメ  
タリ

第三 屎塵芥ノ處分ニ關スル件

從來ヨリ樞要ナル地十二ヶ所ニ汚物掃除法ヲ適用シ有ルヲ以テ之等ノ個所ニアリテハ平素三四日乃至一週間ノ間隔ニテ塵芥搬  
出ヲ行ヒツ、アリタルカ本年ハ特ニ各所ニ於テ平素ヨリ搬出力ヲ増加シ掃除監督ヲ嚴重ニ勵行セリ  
秋田市ハ平素七臺ノ搬出荷馬車ヲ以テセルモ特ニ十月ヨリ三臺ヲ増加シ一日拾臺ノ荷馬車ヲ以テ搬出セシメ塵埃ノ蓄積散出ヲ  
防止セリ

第四 屎尿處分ニ關スル件

共同便所ハ縣内各樞要町村ニ設置シアリテ汲取並掃除ハ請負ニテ之ヲ爲サシメツ、アリ本年中特ニ新設セルモノ二六個ナリ

其ノ他臨時ニ設備セルモノナシ秋田市ハ特ニ地方供饌其ノ他各種催ノ爲メ縣人ノ出入多キヲ以テ特ニ共同便所ハ毎日石油乳劑  
ヲ以テ消毒シ内外ノ清潔保持ニ努メ殊ニ汲取ハ組合ヲ組織シ汲取ハ請負ハシメ毎日之レヲ勵行セシメタリ各戸便所ニ對シテハ  
汲取ヲ勵行セシムルト共ニ位置不適當且不潔ナルタメ變更セルモノ一九二個ニ及ヘリ

第五 飲食物等ノ取締ニ關スル件

一、屠場ハ公設三箇所私設七ヶ所計十ヶ所ニシテ各所ニ常ニ獸醫タル衛生技手ヲ派遣シ設備ノ改善其ノ他清潔保持ニ努メタリ  
二、牛乳搾取及設備取扱搾取用器具等ノ清潔保持其ノ他諸法規等ニ關スル斯業ノ知識普及ノ目的ヲ以テ營業者ニ對シ四月廿五  
日同廿六日ノ二日間日本赤十字社秋田支部樓上ニ於テ乳事講習會ヲ開催セリ營業者八十一名中會スルモノ四十五名外取締ノ  
任ニアル衛生技手等ニシテ會終了後種々ノ點ニ就キ協調セリ  
三、飲食物等ニ對シ特ニ縣外輸出品ニ對シテハ衛生技術官ヲ派遣シ又ハ收去セシメ化學的検査ヲ嚴行セルカ其ノ検査件數七千  
五百十四件内不良件數九百二十八件ニシテ其ノ内七件(醬油)ニツキ處分セリ

第六 旅店料理店飲食店貸座敷等ニ關スル件

料理店旅店飲食店其ノ他警察取締ニ屬スル諸營業者ニ對シテハ縣技術員ヲ派遣シ健康診斷ヲ行ハシメ同時ニ其ノ際各種營業者  
ニ付キ衛生上ニ關スル講演ヲ爲サシメタリ尙八月中ノ衛生週間ニ於テ之等諸營業者ニ對シテ特ニポスターレットヲ頒布注  
意ヲ喚起セシメタリ

第七 其ノ他衛生上取締ヲ要スル各種營業ニ關スル件

理髮店ニ對シテハ公衆衛生上周到ナル注意ヲ嚴重ニ行ハシムルト同時ニ十一月上旬之レカ一齊取締ヲ執行シ一層公衆衛生上ニ  
就キ諸注意ヲ喚起セシメタリ之レカ一齊取締狀況左ノ如シ

注意 件 數

一、一九四

説諭 件 數

三七六

改善ヲ命シタル件數

二八

計

一、六八二

各種工場等ニテ最モ多ク且ツ多數人ヲ使傭セル工場所在地タル能代港町湯澤町ノ二ヶ所ニ於テ健康保險署ト協調ノ上五月中衛生展覽會ヲ開催主トシテ工場使傭人ニ觀覽ノ便ヲ計リ工場關係者ニ對シテハ講演會ヲ爲シタリ其ノ他保險署ト協同ヲ以テ縣下全般ノ工場ニ對シ衛生活動寫真會ヲ開催セリ

第八 花柳病豫防ニ關スル件

一、縣下遊廓所在地十ヶ所娼妓平均二二五人ノレニ對シテハ月六回ノ定期健康診斷ヲ勵行シ有病者ニ對シテハ入院其ノ他治療方法ヲ實施セシメ花柳病ノ豫防ニ努メタリ

二、營業者ニ豫防藥品ヲ備付ケ(娼妓個人ニテ所持シアリ)洗濯設備トヲ爲サシメ(主トシテ「クレンジール」ヲ用フ)接客毎ニ嚴行セシムル様注意ヲ爲シタリ

三、花柳病傳播ノ虞アル接客業婦(藝妓酌婦其ノ他雇女)ニ對シテ豫防知識ノ普及ノ爲メ特ニ活動寫真班ヲ組織シ縣内三十九ヶ所ニ於テ開催セリ

尙健康保持ニツキテハ之等營業者ヨリ成ル保健組合ニ於テ毎月一回乃至三回以上自衛的健康診斷ヲ勵行シ有毒者ニ極力治療勸誘セリ

既設ノ治療所二ヶ所外本年ハ船川渡町料理屋組合ヲシテ治療設置ヲ計劃セシメ目下工事進捗中ナリ自衛的健康診斷ヲ施行シアル人員左ノ如シ

實人員	一、一七六名
延人員	二一、七九一名
有病者	三〇一名
昭和三三年十月現在	

共ノ他保健組合ト協調樞要個所二十四ヶ所ニ縣技術官(醫師)ヲ派遣シ花柳病ノ檢診ヲ行フト共ニ豫防講演ヲ爲シタリ

檢診成績

受檢人員	五五六名
有病者	二一六名
淋病	一三七名
花柳病	
軟性下疳	
其他	九七名

檢診人員百ニ對スル有病者 三八、八五名

檢診人員百ニ對スル花柳病者 三四、六四名

第九 結核トラホーム豫防ニ關スル件

警察取締營業者ニ對シテ本年二月ヨリ十月ニ亘リ結核トラホームノ檢診ヲ行ヒ患者ノ發見ニ努メタリ又昨年六月開設セル縣内三ヶ所ノ結核消毒所ノ利用並ニ結核豫防ニ付キポスター二千枚「リーフレット」十一萬枚ヲ印刷頒布シ更ニ七月十二日結核豫防並ニ患者發見等ニ關シ各警察署長ニ對シ督勵ヲ爲シタリ

第十 癩豫防ニ關スル件

患者取締ニ關シテハ北部保養院關係道縣ト聯絡ヲ計リ遺憾ナキヲ期シタリ  
尙本縣ニ於ケル保養院送致定員二十三名ノ處特ニ甚シキ患者ニシテ希望者アリタルニ依リ定員外トシテ一名保養院ニ送致セリ  
現在患者二百名ニシテ特ニ收護ヲ要スヘキモノヲ認メサル狀況ナリ尙警察署長會議ノ際之等私宅療養患者ノ取締ニ關シテ訓示セリ

第十一 精神病者ニ關スル件

當管下ニ於ケル精神病者ハ監置四十四名不監置五百七拾八名ニシテ之レカ精神病者ノ中ニテ御大禮ノ爲メ旅行セント企ツルモ

ノ或ハ所在不明者モ相當アリ殊ニ未タ警察視線外ノ者妙カラサル狀況ニアル等警備上深甚ノ注意ヲ要スル處ニシテ之カ視察警戒ニ就イテハ期日ヲ三期ニ分チ本指示事項ニ遵ヒ夫々施設計劃ヲ樹テ各署ヲ督勵シテ不穩不敬ノ舉措ニ出ツルカ如キコトナキ様最善ノ努力ヲ爲シ一面課員ヲ各署ニ出張セシメ指導督勵ヲ加ヘ計劃事項ノ遂行ニ努メタルニ各署員ニ於テモ一層緊張味ヲ以テ之ニ當リタル結果一二遺憾ノ點ナキニアラサルモ大體ニ於テ良好ノ成績ヲ擧ケ事故ナク終了ヲ見ルニ至リタルモノニテ今實行セル重ナル成績ヲ擧クレハ

- 一、所在不明精神病者發見數 四名
- 一、精神病者ノ新規發見數 九十七名
- 一、精神病者ノ監置室修繕セシメタル數 三件
- 一、精神病者ニシテ御大禮關係地方ニ出行セントシタルモノノ阻止シタル數 二名
- 一、御大禮關係地方ニ出行ノ虞アリ第三期間ニ入り檢束シタル數 二名

第十二 防疫ニ關スル件

一、傳染病ノ豫防共ノ他防疫上諸般ノ智識普及ヲ計リ特ニ御大禮ニ際シ縣内ノ衛生施設ノ徹底ヲ期セシムルノ目的ヲ以テ傳染病ノ擡頭セサルニ先チ六月二十六日ヨリ同八日迄三日間防疫講習會ヲ開催各市町村ノ衛生擔當者並ニ衛生組合長ヲ會同セシメタリ

講習會終了後防疫共ノ他衛生施設ニ關シ協議會ヲ開催セリ

- 二、衛生週間ハ八月廿五日ヨリ同月三十一日迄一週間衛生週間ヲ開催シ傳染病豫防共ノ他公衆衛生諸般ノ注意者並ニポスターヲ印刷頒布セリ(ポスター二千枚注意書一萬枚印刷配布)
- 三、チフス早期發見ニツキ年々膽汁培養基ヲ配布シアルモ本年ハ特ニ其ノ配布回数ヲ増スト共ニ之レガ利用方ヲ督勵シ衛生課並ニ横手衛生試驗所大館細菌検査所ニ對シテ細菌學的検査ノ督勵ヲ加ヘタリ
- 四、發生シタル傳染病ニ對スル措置ハ(主トシテ腸チフス)衛生技術員其ノ他係員ヲ派遣極力傳染系統ヲ調査セシムルト共ニ

檢病の戸口調査ヲ行ヒ蔓延防止ニ努メタル結果本年ノ一般傳染病ハ既往兩三年ニ比シテ約二百名ノ減少ヲ見タリ

- 五、本縣ニ於ケル貿易港トシテ船川港ノミナリ依ツテ之レカ水上取締ニ關シテハ所在地警察署ニ命シ嚴重ニ行ハシメタリ十月十八日上海ヨリ長崎港ヲ經テ船川港ニ寄港セル三福丸乗込船員二十六名ニ對シ檢疫ヲ執行(時上海ニコレラ流行中ニ付キ)有病者無キヲ以テ(檢便結果保菌者ナシ)健康證明書ヲ與ヘタリ
- 六、痘疹豫防ニ關シテハ三月中東京福島地方ニ痘疹患者發生セル際本縣ニ於テハ之レカ浸入防止ノ策トシテ同地方ニ往復セル者及物品ヲ取扱フモノニ對シテ種痘ヲ勵行セシムヘク三月十七日各警察署長及市町村長ニ對シ通牒ヲ發シタリ尙御大禮取締ノ爲出張ノ者ニ對シテハ豫防注射並ニ種痘ヲ實施セリ
- 七、傳染病隔離病舎整備ニ就キ二月七日各警察署長ニ通達調査セシメタリ
- 八、其ノ他ニ關シ腸チフス患者三ヶ年以上繼續發生セル町村一〇四ヶ町村ナルヲ以テ之レ等町村中最モ患者多數ナル町村ニ對シテ傳染病豫防ニ關スル活動寫眞會ヲ開催スルト共ニ衛生講演會ヲ開催セリ其ノ數四十二ヶ町村ニ及ヒタリ、九月十五日十六日ノ兩日ノ北海道東北六縣衛生技術官會議ニ際シ豫防上ニツキ意見ヲ交換セリ

第十三 救護ニ關スル件

十一月十六日地方賜饌ノ際左記救護班ヲ組織シ場内一般ノ救護ニ充テタリ

救護班

- 一、醫師 二名
- 一、藥劑師 三名
- 一、警部 三名
- 一、屬 一名
- 一、看護婦 一名
- 一、救護者 一名(胃潰瘍ニテ卒倒セルモノ)

第十四 各種團體ニ關スル件

縣主催ニテ九月十四日ヨリ同月十六日マテ三日間秋田市ニ於テ衛生展覽會開催ニ際シ左記團體ト協調ヲ遂ケ衛生普及ニ努メタリ

秋田縣私立衛生會 秋田縣齒科醫師會 秋田市縣藥劑師會 日本赤十字社秋田支部

◎地方賜價衛生事務施行事項

(一)賜價場ニ關スル件

地方賜價場ノ(秋田市中通小學校)場内ニハ唾壺ヲ配置シ兩便所ノ消毒ヲ行ヒ場内各所ニ便所ノ所在ヲ指示スルト共ニ第十  
三項記載ノ救護班ヲ組織シ場内一般ノ救護ニ努メタリ

(二)飲食物ニ關スル件

饗饌ニ關スル飲食物關係従業者ニ對シテハ健康診斷並檢便ヲ行ヒ健康者ノミ從事セシメ調理ニ關シテハ飲食物ノ原料並飲食  
用器具ニ對シ技術者ヲシテ嚴重檢査ヲ施行セシメタリ

健康診斷並檢便ヲ行ヒタル關係者左ノ如シ

- 一、御料理關係者 一〇名
- 一、御菓子關係者 一一名

豫 算 九百七十二圓四十錢

(29) 福 井 縣

飲食物取締傳染病豫防救治並ニ家畜傳染病豫防等ニ一段ノ努力ヲ拂ヒタルモ特ニ實施シタル衛生施設ナシ

(30) 石 川 縣

御大禮衛生施設ニ付テハ特ニ豫算ヲ設ケサリシモ昭和三年三月二十八日附內務省衛發第二八號內務次官依命通牒ニ依ル衛生施  
設事項ニ基キ管下各警察署長市町村長醫師會長等ニ通達シ三者協調シテ施設ノ實行ヲ計ラシメ縣ニ於テハ保菌者調査ノ勵行ヲ  
ナシ「腸チフス」豫防注射ノ普及ニ力ヲ盡シ一方衛生思想ノ普及徹底ヲ計ル爲メ「ボスター」ノ刊行講演會活動寫真利用講演  
ヲナシ部民ノ智識啓發ニ努メ官民協力遺漏ナキヲ期シタリ

(31) 富 山 縣

御大禮衛生施設ニ關シテハ昭和三年三月以來各警察署長ニ訓示或ハ通牒ヲ發シ市町村長並各種團體ト協力シ各種傳染病ノ防遏  
ニ全力ヲ傾注シ其ノ他衛生諸般ノ施設ニ付テモ一層最善ノ注意ヲ拂ヒ以テ萬遺憾ナキヲ期シタリ其ノ主ナル施設左ノ如シ

防疫ニ關スル件

一、本縣ノ防疫上最モ憂慮スル處ノモノハ腸チフスノ流行及コレラ痘瘡ノ侵襲ニシテ腸チフスノ豫防撲滅ニ對シテハ夙ニ意ヲ  
注キ患者發生ノ部落ニハ豫防注射ヲ施行シ患者ノ隔離ヲ勵行スルノ外衛生技術員ヲ派遣シテ傳染系統ノ探索消毒方法ノ指示  
監督ニカメ之カ豫防撲滅ニ努メタリ

二、コレラ痘瘡ノ豫防ニ關シテハ船舶出入夥シキ伏木港及其ノ他ノ沿岸各警察署長ニ對シ常ニ傳染病發生狀況ニ留意セシムル  
ト共ニ出入船舶ノ乗組員及上陸者ノ健康状態ニ注意シ特ニ有病地ヨリノ飯來ノ有無ヲ調査セシメ必要ニ應シ衛生技術員ヲ急  
派セシムルノ外適宜ノ處置ヲ爲サシメタリ

三、水電事業其ノ他ノ出入者ニ注意シ若シ朝鮮支那方面ヨリ直行シタルモノ或ハ痘瘡有病地ヲ發シ又ハ通過シタルモノアル時



- 二、各種工場及工業場ニ對シテハ衛生設備ヲ完備セシメタルノ外警察官吏及醫師ヲシテ衛生講話ヲ爲サシメタリ
- 三、學校長ト協議シ學校醫共ノ他ノ者ヲシテ衛生講話ヲ爲サシメ衛生思想ノ普及ニ努メタルカ其ノ開催度數八十七、觀覽者數五萬八千九百五十名ナリ
- 四、縣下各地ニ衛生活動寫真班ヲ派遣シ衛生思想ノ普及ニ努メタルカ其ノ開催度數八十七、觀覽者數五萬八千九百五十名ナリ

各種團體ノ活動狀況ニ關スル件

縣下各種團體中衛生組合三百三十七、青年團九十五、在郷軍人會五、自警團八十五、婦女會二十一ハ特ニ昭和三年春以來左ノ如キ事業ヲナシ效果ヲ收メタリ

イ、時々衛生講話會ヲ開催シ或ハ衛生宣傳ポスターヲ樞要ナル箇所ニ貼付シ衛生ニ關スル印刷物ヲ各戸ニ配布スル等衛生思想ノ普及徹底ニ努メタリ

ロ、飲料水改善ニ關シテハ河水使用者ニ井戸ノ新設及濾過器ノ使用ヲ獎勵シタルノ外井戸ハポンプ裝置ト爲シ時々「クロール」石灰ヲ以テ消毒スル等安全ナル飲料水ヲ得ルニ努メタリ

ハ、夏季傳染病ノ流行期ニハ特ニ臨時大掃除ヲ施行シタルノ外尙溝渠、下水、塵芥溜ノ一齊浚渫ヲ施行シ清潔保持ニ努メタリ

ニ、各種團體毎ニ蠅取紙、蠅取器、石油乳劑ノ共同購入ヲ爲シ各戸ニ配布シ石油乳劑ハ蠅ノ棲息シ易キ不潔ノ場所ニ散布シ蠅ノ驅除ニ努メタリ

以上ノ諸經費ハ概ネ左ノ如シ

石油乳劑購入費	七、七三七、〇〇
石灰 同	三六九、〇〇
蠅取紙同	一、六四五、〇〇
蠅取器同	二八一、〇〇
印刷物同	一、六二七、七〇
下水溝改造費	一五二、〇〇

井戸新設費

個人	二、五九八、〇〇
共同	四、八三三、八〇

ホ、市町村當局ニ於テモ傳染病豫防ニ就テハ傳染病院或ハ隔離病舎ノ完備ノ要アルヲ自覺スルト共ニ御大典記念事業ノ一トシテ之カ建設改築ニ銳意努力シタルニ依リ縣下ヲ通シテ傳染病院一、隔離病舎五ノ新設ヲ見タル近年稀有ノ現象ニシテ防疫上慶賀ニ堪ニス

大嘗祭庭積机代物、獻上品、地方賜饌ニ關スル件

一、大嘗祭庭積机代物及供納者

小豆、精粟、精米、干海老	各一名
--------------	-----

干鮎	神通川漁業信用販賣組合
----	-------------

獻上品及納入者

醬油	北一醬油株式會社
----	----------

御所落雁、月世界、銀杏、唐箕、晒麻布、銅器花瓶、

漆器御手篋、 <small>絹織物富士絹</small> 、 <small>女</small> 、千代の梅、真綿	各一名
--	-----

地方賜饌用御料理調製者	四名
-------------	----

一、本件關係者ノ健康ニ關スル件

大嘗祭庭積机代物供納者並家族及獻上品關係者地方賜饌ノ料理従業者ニ對シテハ警察官ヲシテ時々健康狀態ヲ視察セシメ苟モ傳染性疾患其ノ他ノ疾病アル者ヲ發見シタルトキハ直ニ報告セシメタル外時々衛生技術員ヲ特派シ關係者ニ對シテハ洩レナク健康診斷ヲ行ヒタルノ外腸チフス豫防注射ノ施行或ハ保菌者ノ檢索ヲ行ヒ諸般ノ保健衛生ニ關シ指示督勵シ萬遺憾ナキヲ期シタリ

種別	健康診断成績調			細菌検査ノ成績調	
	健康診断者	健康者	疾病者	検査數	陽性陰性
大嘗祭庭積代物供納者並同家族	六七	六七	ナシ	五三	ナシ
献上品關係者並同家族	五二	五二	ナシ	三三	ナシ
地方賜飯ノ料理従業者並同家族	一四一	一四一	ナシ	一〇六	ナシ
計	二六〇	二六〇	ナシ	一九二	一九二

一、本件材料等消毒方法其ノ取扱方ニ關スル件

大嘗祭庭積代物並献上品ノ醱製ニ際シテハ特ニ調製室ヲ新設シ消毒の清潔方法ヲ施行シ係員ノ外出入ヲ禁シ調製ニ使用スル一切ノ器物ハ酒精擦拭ヲ爲シ従業者ハ清潔ナル白衣マスクヲ使用セシメ且ツ従業前ハ前膊及手指ヲ石鹼湯ヲ以テ清洗セシメタル後酒精ヲ以テ擦拭セシム各醱製ニ係ル物品ハ特ニ消毒済ノ調製セル容器ニ納メタルモノニシテ以上ハ衛生技術員ノ監視監督ノ下ニ行ヒタルモノナリ献上品中飲食物ニ對シテハ其ノ材料並製品ノ化學的試験ヲ行ヒタルモノニシテ何レモ衛生上危害ナキハ勿論品質最モ佳良ナリトス地方賜備用ノ御酒御料理ニ關シテハ其ノ材料ノ產地、仕入先等ヲ詳細ニ調査シ特ニ材料ハ新鮮ヲ期シ化學的試験ヲ要スヘキモノニ對シテハ衛生技術員ヲシテ行ハシメタリ尙取扱ニ付テハ適宜ノ措置ヲ講シタリ

地方賜備用料理調製所ハ豫メ熱加里石鹼溶液ヲ以テ消毒ヲ行ハシメ調理人以外ノ者ノ出入ヲ禁シ使用器具器物ハ酒精ニテ消毒ヲナシ従業者ハ清潔並ナル白衣白帽マスクヲ使用セシメタルノ外特ニ手指ヲ石鹼湯ヲ以テ清洗セシメタリ尙此ノ際使用ノ松枝葉蘭、菊ノ葉ハ晒粉溶液ニ浸シ後煮沸冷水ニテ清洗シタルモノヲ用ヒタリ

豫 算 六百四十圓

(32) 鳥 取 縣

御大禮ニ關スル衛生施設トシテ本縣ニ於テハ主トシテ防疫方面ニ力ヲ注キ左記各項ノ方法ヲ實施シ其ノ遺憾ナキヲ期セリ

一、檢病的戸口調査ノ勵行

傳染病患者ノ早期發見ニハ檢病的戸口調査最モ有效ナルヲ以テ從來ヨリ之ヲ實行シ居レルモ御大禮防疫施設ノ一トシテ九月一日ヨリ持續的ニ之ヲ勵行セシメタルニ檢病調査人員ハ六十六萬七千八百六十三人ニシテ有病者千八百九十名内傳染病若ハ其ノ疑似六十名ヲ發見セリ尙醫師會ト連絡ヲ執リ一般開業醫ニ對シテ早期診斷ノ便ニ供セシムル爲メ各警察署ニ「チフス」診斷液並胆汁培養基ヲ豫メ配布シ無料ニテ之ヲ利用セシメ以テ患者ノ早期發見ニ努メタリ

二、癩患者ノ視察取締

醫師ノ届出ニ依リ名簿ニ登錄セル患者ニ對シテハ消毒其ノ他ノ設備ヲ嚴ニ行ハシメ且多衆ノ集合又出入スル場所並御大禮關係地方ニ旅行セシメサル方法ヲ講シ一面隠レタル患者並浮浪徘徊中ノ患者發見ノ爲メ九月十五日ヲ期シ一齊調査ヲ行ヒ本調査ニ依リ患者八十三名中新患者三十八名ヲ發見シ之等新患者ニ對シテハ從來ヨリノ患者同様視察ヲ行ヒ其ノ豫防消毒並旅行等ニ對スル取締ヲ勵行セリ

三、保菌者ノ檢案取締

保菌者ヲ早期ニ發見シ御大禮關係地方ヘノ旅行ヲ阻止スルハ防疫上最緊要ト認メ患者發生スルヤ患者ノ家族並其ノ出入者ハ勿論進テ部落住民ノ健康診斷ヲ行フト同時ニ尿尿ヲ採取シ細菌検査ヲ行ヒ保菌者ノ檢案ニ努メタリ而シテ健康診斷ニ關シテハ町村醫ノ外縣ヨリ防疫醫ヲ派遣シ之ニ當ラシメ検査材料ノ採取ニ付テハ警察官ヲシテ之ニ從事セシメタリ尙保菌者ノ檢案ハ以上ノ外客ノ來集ヲ目的トスル者其ノ他特種營業者ニシテ必要ト認メタル者ニ對シテモ同様尿尿ノ検査ヲ行ヒ其ノ人員千六百三十七名ニシテ陽性ノ者一名ヲ發見セリ

四、豫防注射ノ履行

本縣ニ於ケル傳染病中最モ多キハ「チフス」ナルヲ以テ其ノ豫防ニ關シテハ各種ノ方法ヲ講シツ、アルモ特ニ效果ノ確實ナル豫防注射ニ對シテハ其ノ普及勵行ニ努メ開業醫ナキ町村又ハ特別ノ事情アルモノニ對シテ防疫醫ヲ派遣シ其ノ他ノ町村ニ對シテハ通牒ヲ發シ又ハ警察官ヲシテ直接督勵セシムル等ノ方法ニ依リ十月迄ニ之ヲ行ヒタル者三萬三千八百七十六名ナリ因ニ管内人口ハ四十七萬九千六百八人ナリ

五、定期種痘及臨時種痘ノ履行

痘症ハ種痘ノ普及徹底ニ依リ完全ニ防止スルコトヲ得ルモノナルヲ以テ警察官ヲシテ檢病的戸口調査ニ依リ未寄留等ニ由ル種痘未済者ノ發見ニ努メ又定期種痘ヲ嚴重ニ行ハシムルト同時ニ不善感ノ者ニ對シテハ臨時種痘ヲ督勵スル等其ノ普及徹底ニ努メタリ而シテ之ヲ行ヒタル者四千四百三十四人ニ達シ其ノ成績ヲ見ルニ善感者二千九十三人不善感者二千三百四十一人アリタリ

六、經費・費 特ニ豫算ヲ計上セス

(33) 島根縣

本縣ニ於ケル精神病者數ハ昭和三年七月現在七百十三名(内男四百三十九名)ナルヲ以テ御大禮ニ際シ特ニ之カ監護取締ニ留意シ萬全ノ策ヲ講スルヤウ同年六月二十二日附ヲ以テ各警察署長宛通牒シ之ニ努力セル外特ニ實施シタル施設ナシ

(34) 岡山縣

施設事項

一、精神病者ノ取締

精神病者ノ警備取締ニ付テハ昨年八月四日ヨリ三日間ニ亘リ特ニ各警察署長ヲ招集シ御大禮警備要綱ニ於テ記述シタル方針ニ則リ詳細打合セテ遂ケ速ニ其ノ名簿ノ一齊整理ヲ行ヒ嚴密ナル視察警戒ニ努メ些ノ遺憾ナキヲ期シタリ而シテ其ノ警備期間中ニ於ケル取締ノ概況左表ノ通

監置精神病者取締成績表

計	期 間 別			監置精神病者數	監置場臨檢度數	場所變更又ハ改築修繕ヲ命シタル數	其ノ他必要事項ヲ指示シタル數	備 考
	第 一 期	第 二 期	第 三 期					
	一、二二六	一、二二二	一、二二五	六七八	六九	三一六		
	一、〇九六	一、〇九六	一、一六四	二	二	三七		
	二、九三八	七三	三六五					

非監置精神病者取締成績表

計	期 間 別			非監置精神病者數	新ニ發見	轉入	轉出	監護義務者又ハ保護者ヨリ請書ヲ發シタル數	備 考
	第 一 期	第 二 期	第 三 期						
	一、〇一五	一、一九五	一、二四八	二五八	七	七	九	六七	
	二五八	九七	七	七	三	四	七	二七六	
	二五八	九七	七	七	三	四	九	一、〇五七	
	三六二	一二二	一、三九〇						



所在不明精神病患者調査成績表

計	期間別			所在不明精神病患者數	新ニ所在不明トナリタル者ノ數	所在不明精神病患者ヲ發見シタル數	備考
	第一期	第二期	第三期				
	七七	五二	三八		二	二	
計				五	一	二	四五

(二)全期間中ニ於ケル精神病患者取締成績表

外出若ハ旅行セシトシタル者ヲ阻止シタル數	期間中急迫監置シタル數及其廢止數			尾行シタル數		旅行中其ノ他各地ヲ徘徊中保護シタル數	同上保護シタル者ノ内他府縣へ引渡シタル數
	監置	廢止	管內ノ者	管外ノ者			
一三	三六	二	三	六	二七		九

二、傳染病豫防

イ、公種痘脫漏者其ノ他必要アリト認ムル者ニ種痘ヲ勵行セシメ一面支那朝鮮方面ヨリ渡來セルモノ及其ノ往復者ニシテ未種痘者不善感者等ニ對シテハ嚴密ナル調査ヲ行ヒ即時種痘ヲ施行セシメタリ

ロ、同期間中縣下各警察署ヲシテ檢病的戸口調査ヲ一齊ニ勵行セシメ住民ノ健康状態ノ查察ヲ行ヒ不健康者ノ發見ニ努メ其ノ疑ハシキモノハ當廳技術員ヲ派遣シ一面當該町村醫ヲシテ診斷ヲ行ハシメ早期ニ其ノ處置ヲ講シ遺憾ナキヲ期シタリ

ハ、海外ニ於ケル「コレラ」發生ノ狀況ニ鑑ミ水上生活者及之ニ密接ノ關係アル者ニ對シ其ノ人員並動態等ヲ調査シ他日豫防接種施行上ノ準備ヲ爲サシメ極力豫防警戒ニ努メタル結果些ノ遺憾ナキヲ期シタリ

ニ、大嘗祭庭積机代物供納者ノ居住町村並其ノ附近ニ對シテハ常ニ衛生常態ニ嚴密ナル注意ヲ拂ヒ特ニ其ノ部落ハ關係家族ノ健康状態ノ視察ヲ行ヒ一面自發的ニ豫防思想ノ喚起ニ努メタル結果一名ノ不健康者ヲ見ス頗ル優良ナル成績ヲ得タリ

ホ、京都府及奈良縣警備應援トシテ派遣シタル警察官二百十六名ニ對シテハ其ノ出發前ニ於テ當廳技術員ヲシテ嚴密ナル健康診斷ヲ行ハシメ腸チフス豫防注射並ニ種痘ヲ施行シタリ

三、豫算

- 一、精神病患者取締經費 一、二五〇圓
- 二、傳染病豫防施設ニ要シタル經費ハ經常費豫算中ヨリ支出シタルモノニシテ別ニ計上セサリシモノナリ

(35) 廣 島 縣

左記御料品ノ耕作調製者並其ノ家族、從業者ニ對シ警察署ヲ督勵シテ豫メ檢病調査ヲ行ハシメ一面當廳技術官ヲ派遣シテ健康診斷ヲ爲サシムルト共ニ現品ヲ無償交付シテ「腸チフス」豫防注射(生魚納入關係者ニ對シテハ「コレラ」豫防注射ヲ行フ)ヲ施行シタルノ外御大禮ニ際シ特ニ實施シタル衛生施設ナキモ昭和三年二月特ニ縣下警察署衛生主任會同ヲ開催シ以來傳染病豫防警戒監置精神病患者取締ノ殿行其ノ他衛生諸般ノ取締ニ深甚ノ意ヲ拂ハシメ過誤ナキヲ期セシム右ニ要シタル經費ハ既定豫算ヲ以テシタルヲ以テ御大禮衛生施設ニ關シ特ニ豫算ヲ計上セス

御用品名

耕作調製者數

- 米 二名
- 粟 二名
- 白 菜 二名
- 密 柑 一名

柿	一名
干貝	二名
生鯛	三名
壘表	二名

(36) 山口縣

御大禮衛生施設トシテハ昭和三年三月二十八日發衛第二十八號內務次官依命通牒ニ依據シ「ベスト」及「コレラ」ノ豫防施設ヲ講セシ外下記ノ通り痘瘡豫防並設置精神病者ノ視察取締ニ就テモ特ニ施設ヲ講スル所アリ此ノ外一般防疫及保健衛生施設ニ就テモ同通牒並ニ豫テ中報濟ナル昭和三年度赤痢「チフス」豫防計畫ニ基キ銳意防疫及保健狀態ノ向上刷新ニ努ムル所アリタルモ之等ハ平常ニ於テモ施爲スヘキモノニシテ只御大禮アルカ故ニ特ニ力ヲ致シ濃厚周密ヲ期シタリト謂フニ過キサレハ之カ記述ヲ略ス

一、「ベスト」豫防施設

下關港沿岸及之ニ接續スル一帯ノ地域ニ對シ防鼠及除鼠施設ヲ爲スコト、シ五月二十八日別紙(一)ノ通り豫防計畫ヲ樹テ之カ爲特ニ內務省ヨリ防疫醫一人防疫監吏五人ノ臨時増員ヲ得六月十五日ヨリ之カ實施ヲ爲シ先ツ區域内ノ倉庫業者ヲシテ倉庫、納屋六十四棟(三千三百六十九坪)ニ對シ防鼠設備ヲ施サシムルト共ニ捕鼠器ヲ購入裝置セシメ縣ニ在リテハ衛生試驗所ニ於テ殺鼠劑ヲ調製シ之ヲ區域内ノ倉庫、納屋、一般住家(百三十二戸)並下關港内ニテ荷物ノ取扱及運搬ニ從事スル舢舨百拾壹艘(八千三百五十五噸)ニ毎月三回宛反覆無代配付シ猶倉庫納屋以外ニハ捕鼠器ヲ購入貸與シ以テ捕鼠ノ獎勵ヲ爲シ捕獲シタル鼠ハ下關市ヲシテ買上ケシメ同地縣立細菌検査所ニ回送シテ細菌學的検査ヲ施行シタルカ本計畫ニ基キ實施後十一月末日迄ノ間ニ於ケル事績次ノ如シ

(イ) 捕鼠器裝置數	口 貨 計	別 與 數	四六五 四四八 九一三
(ロ) 捕鼠劑配布數	配 配	布 布	同 個
(ハ) 捕鼠頭數			一八 八四、九五 四、六二四
(ニ) 鼠族細菌學的検査成績	行 能	檢 査	陰 性
	頭 數	不 性	四、〇七五 四、〇七五 五四九

本件實施ニ伴フ經費ハ別ニ要求セス經常部傳染病豫防費中ヨリ支辨シタルカ十一月末マテハ精算七百五十三圓二十錢ナリ

二、「コレラ」豫防施設

下關港ハ外航船舶出入ノ關係アルノミナラス關西第一ノ漁港ニシテ京阪神方面ニ漁獲物ヲ供給スル關係アリテ同地ノ警戒ハ最モ綿密ヲ加フル要アルヲ以テ五月二十八日別紙(二)ノ豫防計畫ヲ樹テ之カ爲特ニ內務省ヨリ防疫醫二人防疫監吏四人ノ臨時増員ヲ得檢病調査班二班豫防注射班二班ヲ組織シ八月十六日ヨリ實施ニ入りタルカ之レヨリ先キ下關水産防疫團ニ於テハ前例ニ依リ注射班ヲ設ケ既ニ七月十二日ヨリ水産關係者ニ對シ「コレラ」豫防注射ヲ開始シ居タルヲ以テ之ト提携呼應シ下關港及之ニ接續スル彦島町沿岸一帯ノ區域内ニ碇泊スル船舶乘組員、運輸業者、沖商人、仲仕等ニ對スル檢病的調査ヲ勵行スルト共ニ同區域内ニ出入スルトロール船、發動機船、漁船等ノ乘組員水上仲仕沖商人、石炭仲仕、陸揚仲仕、沖次業者等ニ對シ豫防注射ノ徹底的施行ヲ期シ一面下關水上警察署ヲシテ港内汚染防止ノ取締ヲ勵行セシメ十月二十七日迄之ヲ續行シタリ

猶右ノ外縣下沿岸漁業部落ニ對シテモ萬一ノ警戒トシテ豫防注射ノ施行ヲ促シタルニ水産會等ノ斡旋ニテ實行セル向相當アリテ次ノ如キ成績ヲ擧ケタリ

地域別	第一回注射員	第二回注射員	計	備考
下關港及彦島町沿岸	一九、六三三	九、六六七	二九、三〇〇	注射人員ハ下關水産防疫團注射班ノ施行シタルモノヲ含ム
右以外ノ沿岸地方	三、九九四	三、〇三七	七、〇三一	
計	二三、六二七	一二、七〇四	三六、三三一	

本件實施ニ伴フ費用ニ就テハ既定豫算ノ範圍内ニ於テハ經理不可能ニ付九月五日縣參事會ノ議決ヲ經二千二十七圓ノ豫算追加ヲ爲シ之ヲ以テ處辨セリ

三、痘瘡豫防施設

本病ハ近年漸ク影ヲ潜メ昭和二年度ニ於テハ機ニ四名ノ患者發生ヲ見タルノミナリシモ密接ノ交通關係アル福岡大分等ノ諸縣ニ於テ相常流行シツ、アル狀況ニ鑑ミ御大典ヲ差控ヘ嚴重警戒ノ要アルヲ惟ヒ二月縣下各市町村長ニ對シ定期種痘ヲ繰上ケ施行シ尙定期種痘後相當ノ年數ヲ經過シタル者及未種痘者ニ對シ漏レナク臨時種痘ヲ施行スヘク通牒指示シ警戒ニ努メ居タル所圖ラスモ四月七日下關市ニ本病患者突發シタルヲ以テ重ネテ定期及臨時種痘急施方ノ通牒ヲ發シ督勵スル所アリシカ右患者ノ原因系統ヲ遡ツテ調査スルニ當リ豐浦郡吉見村ニ數名ノ同病患者アルヲ發見スルニ至リ而モ時機ヲ失シテ病毒ハ村内ニ蔓延シ居レル狀況ニシテ遂ニ患者三十九名ヲ出シ又之ト殆ト時ヲ同フシテ美禰郡共和村ニテハ大分縣ヨリ本病患者ノ遺骨ヲ携帶歸村セル者ニ端ヲ發シ十二名ノ患者發生シ同郡大田町ニ於テハ行商支那人ノ齎セル病毒ニ依リ三名ヲ又豐浦郡神田字賀ノ兩村ニ於テハ朝鮮人ニ依リテ病毒ノ侵襲ヲ受ケ是亦十三名ノ患者續發ヲ見ル等爆發的流行ヲ來セルヲ以テ極力之カ防遏策ヲ講スルト共ニ患者發生地ハ固ヨリ其ノ他一般ニ涉リ臨時種痘ノ施行ヲ勸告督勵シタルニ其ノ效アリテ五月十八日原狹郡厚狹町ニ發生セル患者ヲ最終トシ完全ニ終熄ヲ告グルニ至リタルカ之カ爲實ニ五十三萬四千餘人縣民ノ約半數ニ垂ントスル人數ニ對シ臨時種痘ヲ施行シタリ

本件ニ伴フ經費トシテハ大部分市町村負擔ニシテ縣費支辨ニ屬スルモノハ衛生職員檢疫委員警察官吏等ノ出張旅費痘苗購入斡旋ニ要スル通信運搬費及痘苗代等ナルカ其ノ概算額約九百圓ニシテ這ハ一般經常費ヨリ支辨セリ

四、監置精神病者觀察取締

本件ニ就テハ各警察署長ニ指示シ監護義務者ヲシテ特ニ監護ノ周到ヲ期セサルヘカラサル所以ヲ説示領得セシメ監置室ノ不完全ナルモノ等ハ夫々修理ヲ加ヘ破檻逃走ノ虞無カラシムルト共ニ日常ノ監護ヲ一層嚴重ナラシメ一面警察官吏ノ觀察取締モ周密ヲ加ヘ尙本廳ヨリモ隨時吏員ヲ派シ實地視察ヲ爲サシメ監護義務者及受持警察官吏ノ指導鞭撻ニ當ラシメタルカ幸ニ當事者ノ理解ト熱誠ナル努力ニ依リ些ノ遺漏モナク取締ノ完キヲ期スルヲ得タリ

監置精神病者數十月末日現在

一六三名

本件ノ施行ニ伴フ經費ハ主トシテ吏員ノ出張旅費ナルカ這ハ御大禮特別警戒ノ費用中ヨリ支辨セリ

(37) 和歌山縣

昭和三年三月二十八日附本省衛第二八號御通牒ノ趣旨ニ基キ直ニ警察部長名ヲ以テ縣下各警察署長市町村長宛通牒ヲ發シ御大禮衛生施設ヲ計劃セシメ一面ニ於テハ同八月該施設ニ要スル縣費追加豫算二千六百九十九圓ヲ要求スルト共ニ衛生思想普及宣傳ノ爲印刷物ノ配布衛生講話活動寫真會ノ開催「腸チフス」豫防注射ノ獎勵「腸チフス」保菌者ノ檢索「コレラ」豫防注射實施等極力豫防撲滅ニ努メタルカ其ノ概要次ノ如シ

一、ベスト豫防上鼠族驅除

縣下織維工場ニ對シ鼠族ノ驅除勵行方警察署長ヲシテ通知セシムルト共ニ縣ハ捕鼠器ヲ貸與シ各工場主ト計リ殺鼠劑ヲ製造セシメ尙其ノ成績ヲ擧ケシムヘク一頭五錢ヲ以テ買上方法ヲ講セシメタリ

二、臨時種痘勵行

縣ハ四月十七日告示ヲ以テ縣下一齊ニ臨時種痘勵行方指示シ未種痘者及不善感ノ脱漏ナキ様之カ徹底ヲ期セシメ廳員縣下警察官ニ對シ縣技術員ヲシテ實施セシメタリ

三、消化器傳染病豫防「ポスター」「リーフレット」配布

ポスター三千枚リーフレット三萬枚ヲ製作シテ各警察署及市町村學校飲食關係營業者其ノ他適當ノ方面ニ配布シ「ポスター」ハ要所々々ニ貼付セシメ「リーフレット」ハ各小學校生徒ヲシテ家庭ニ持チ歸ラシメ且衛生講話活動寫真會開催ニ際シ聽衆ニ配布セリ

四、衛生講話活動寫真會開催

市ヲ中心トシ接續各町村及必要ト認ムル地ヲ選定シテ開催スル計劃ヲ樹テ縣市醫師會市當局ト協調ヲ遂ケ講師トシテ縣技術員ト縣醫師會員ト協力シ衛生講話、活動寫真會ヲ開催セリ活動寫真ハ腸チフス豫防映畫「手の戲」四卷、結核豫防映畫「人類の敵」四卷ヲ映寫シ醫師之カ説明ニ當レリ各開催地トモ豫想外ノ多數聽衆アリテ好評ヲ得相當效果ヲ收メタリ之カ開催ケ所十四、來所者一萬五千三百七十名ナリ

五、腸チフス保菌者檢索

昭和三年度ニ於ケル患者家族、流行地域内住民及必要ト認メタル中等學校職員生徒縣下各署ノ警察官其ノ他ニ對シ尿尿檢査ヲ施行シタルニ被檢査者二千九百二十二名ニシテ内一名ノ健康保菌者ヲ發見セリ

六、腸チフス豫防注射施行

昭和三年度ニ於テ腸チフス發生町村十八ヶ所、廳員、縣下中等學校職員生徒ニ對シ、縣下警察官其ノ他ニ對シ豫防注射ヲ實施スルト共ニ之カ徹底ヲ期セシムカ爲縣醫師會ト協力シ縣下四百五十有餘名ノ開業醫ハ豫防液六萬三千瓦ヲ調製之ヲ無償配布シ自九月一日至十月末日迄ノ期間内無料ニテ一般ノ需ニ應セシムルコト、シ注射完了セルモノ合計四萬一千六百五十五名ニ達セリ

七、コレラ豫防「リーフレット」配布

九月二十八日兵庫縣ヨリ患者發見通知ヲ受ケ續テ十月二日大阪市内ニ患者發生ノ通報ト同時ニ「リーフレット」三萬枚ヲ各警察署ヲ通シテ縣下海上生活者、水產業者其ノ他飲食物營業者同關係者へ配布シ豫防上ノ注意ノ促進ニ努メタリ

八、コレラ豫防注射施行

本縣ハ豫防注射液三萬三千瓦ヲ調製スルト同時ニ「コレラ」豫防注射班三班ヲ編成シ（各班共醫師一名防疫監吏一名、警察官二名、町村吏員一名ヲ以テ編成ス）十月九日ヨリ同月末迄ニ終了セシムヘク縣下沿海三十二ヶ町村ニ亘ル水上生活者及水產業者ニ對シ之ヲ實施尙注射施行期日内ニ未了ノモノニ對シテハ別ニ注射液ヲ警察署ニ送致ノ上町村醫ヲシテ同期間内ニ實施セシメ注射完了セルモノ計壹萬七百參十名ナリ

九、狂犬病豫防注射施行及豫防注意書配布

和歌山市ヲ中心トシ其ノ附近各町村ニ對シ十月一日ヨリ同月二十一日迄二十一日間狂犬豫防注射ヲ實施スル計劃ヲナシ豫防注射頭數一千二百二十五頭ニ及ヘリ尙豫防注意書十萬枚ヲ各署ヲ通シテ各町村へ配布シ小學校兒童ヲシテ家庭ニ持チ歸ラシメ之カ豫防周知ニ努メタリ

一〇、花柳病豫防講話會開催

縣下新宮町大島村白崎村遊廓貸座敷營業者娼妓仲居等各組合事務所ニ參集セシメ所在地各警察署長、衛生特務巡查、警察醫囑託列席ノ上衛生課長ヨリ花柳病豫防上ノ智識普及洗滌設備ノ整頓豫防具豫防劑使用勵行並ニ檢診治療上萬遺漏ナカラシムヘク講話會ヲ開催ス

(38) 德 島 縣

一、「コレラ」豫防ノ爲水上生活者並之ニ密接ノ關係アル者ノ一齊調査及豫防注射施行其ノ總人員一萬五千六百六名、豫防液配布數九千五百被注射人員二千五百五十五名